



富士文庫  
昭和62年11月4日  
No. 4281

阿波國文庫  
樟ノ木

阿波國文庫  
樟ノ木

不惑文庫

細川文庫

同地ニ生ル玉楠ト云ル木ニ似テ大木アリ性モ  
 楠等シ船ヲ造ルニ久シク保ツ皮ヲ  
 煎シテ衣ヲ染ル  
 飛色トナル  
 八丈首縮ノカハ色トナル  
 是ヲ以染ル  
 首度花  
 咲安負ハ  
 六月ヨリ熟ス  
 此實ヲ搗キ麥粉ニ交  
 島人糧ニス本州ニ樟ノ楠ニ  
 似テ隻細花ヲ開ク船ニ造ルト在



嶋方言

女貞

子ツミ  
モナナ  
ルカ

クサダシ

夏花咲實九月熟ス

此實ヲ絞ルニ清油多シ

忽白蠟トナル吏食急

九時來粉ニ交テ根トス

常ニ他国エ

出シ穀ト交

易ス又此木ノ皮ヲ煎シ

嶋人ノ衣漁網ナトヲ染ルニ

赤色トナル寂モス益アル木ナリ



樵

嶋ニ多シ三月花咲キ實ハ九月熟ス是ヲ採テ根トシ又穀ト

交易ス皮ヲ煎シ糸ヲ染ルニ黒色ヲナス八丈工夏絹ノ黒色ハ

是ナリ木ノ柱梁ニ用テ保キ又久シク寂モ島ノ要木ナリ



嶋名トウザクハ 荆桑欤  
 此桑嶋ニ安シ葉形切目  
 深シ蚕ニ飼フニ即時ニ  
 食ム故ニ嶋人トウザクト  
 云シカシ凡シ葉ウスク蚕  
 養食ニヨカラス



又桑 魯桑ナルカ

山野及畠植テ蚕ヲ飼其葉ホロク厚子シ  
 嶋ノ糸諸國ニ勝レリ又木長六七間ニ  
 シテ木目窠ツリ卓札杯ニシタルヲ  
 見ルニ唐桑木ニカウ



梅

大木アシト稀ナリ  
花ニ年々十月  
ヨリ咲花形大ニ  
シテ香合氣ツヨク  
實ラフムスブ事モ  
アレ早ク疾風ニ  
落テ其用ヲ  
ナサズ



桃

農園又民家ニ多シ冬中花咲實ハ俗ニ云ヨロイ通シト云  
桃ニ似テ專テ首夏ニ熟シ味其美ナリ



櫻

山中ニ多クシ

大木ナリ

花單弁

ニテ芳

野櫻ニ

等シ正

日下旬

咲ク年

實至テ

大ナリ俗ニ云

庭梅ト云ル

物ノ如シ嶋

人塩ニ漬テ人食ス味其酸ク美ナリ



松

大木ナリ專ニ海舟ヲ造ルニ木性最堅シ然レモ白蟻ト云ル虫好テ喰故ニ家財不用木ナリ葉沙風ニナレソタツ故ニ見レニ

タレリ



檜

此木船具ニ

用故嶋人

勤テ植

養食トイ

正氏以風

列ニキ故ニ

成木難

木性モ

下品ナリ



秋

此木前ニ云ル檜ト同シ

木性ハ熊野杉ニ類スヘシ

皮ヲトリキ和ラケテ

船ノ判目ヲ塞キク

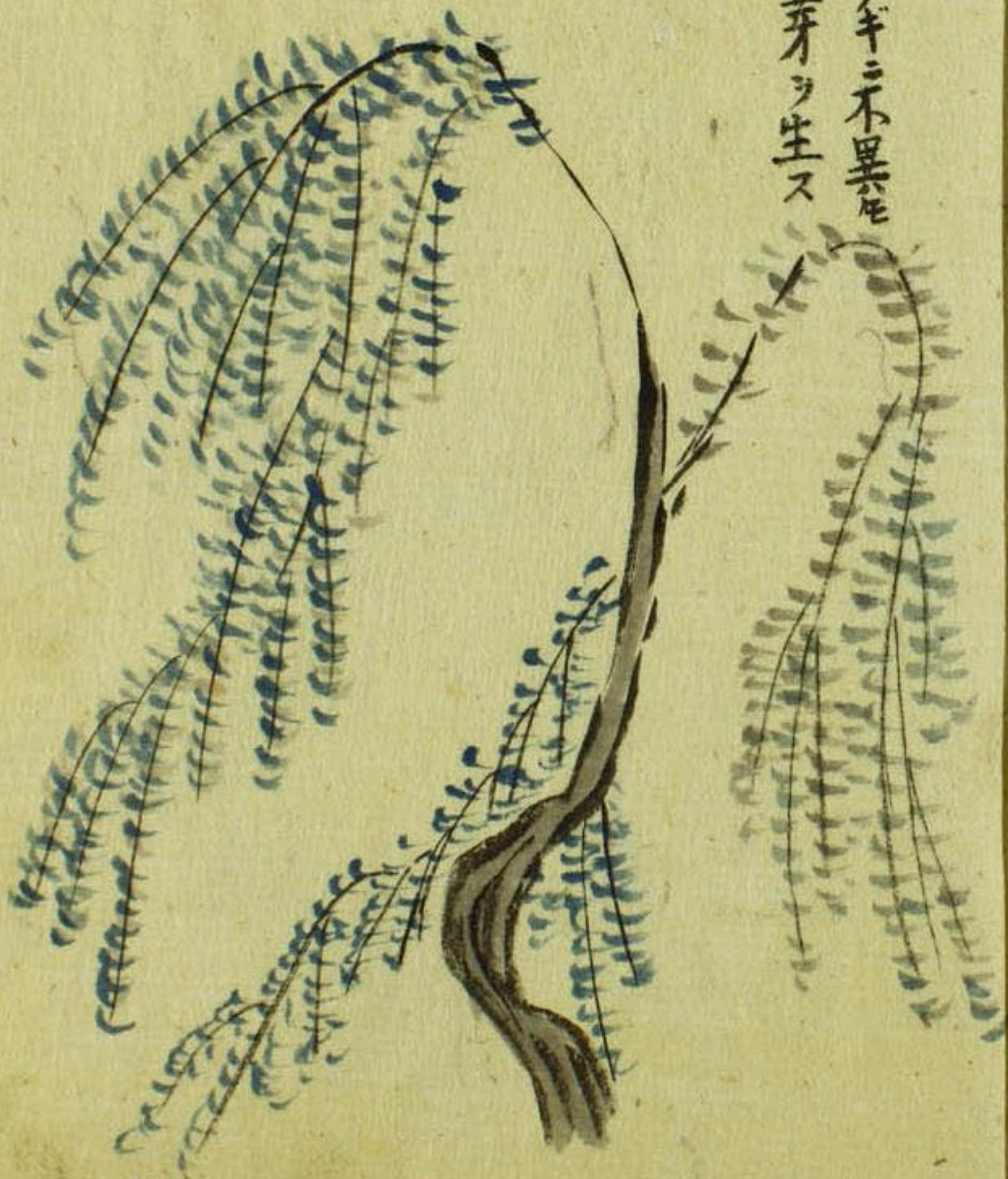


嶋方言アスナラウイヌコ仙伯一名羅漢樹  
 此木八丈ニサク神津嶋ニ多シ  
 國人アスナラウト  
 云ハ木ハ兒チ  
 栢ニ似テ檜ニ  
 チカシ此仙伯ノ  
 皮ヲ真木皮ノ  
 木性ナリ島人モ  
 皮ヲトリキ和ケ  
 船ノ矧目閉ク



柺

國地ノヤナキニ不異也  
 十一月ヨリノ芽ヲ生ス





粘木 モチノキ

大木アシ

其性腐

安ク家財ニ

用事不能

皮ヲ剥テ白テ

搗キ粘トスル而已



嶋方言 アサカラ

此木直クニ延ヒテ葉形麻ノ如シ大木アシ  
性弱ク用木ナラヌ



嶋方言言ナキノ木  
 大木アリ木ノハダ楠ニ似テ白ク  
 赤ミヤリ板ニスレハ忽ニ反リテ  
 朽ヤスシ



桎

白カシナシ庄節多ク物ノ柄棒杯ニ丸ヘキ木ニアラス



鳴方言云ウシタミ

此木深山ニマリ國地ニテ

イヌクスト云ヘル木ニ  
似タリ用木ニアラス



大木アリ花ハ寒中ニ咲キ  
實ハ三月ニ熟スサ花毎  
木性俱ニ國地ニテ是ニ  
植シ終ニ不異トモ葉  
薄シトゲナシ



合歡木 子ムタ  
夜合樹

國地ニモアリ  
カハルコナシ



栝  
クマノホ

家毎ニ多シ中ニハ大木アリ實至テ大ナリ  
青ヲ採テ酢トシ熟シタルハ昔ヨク包ミ  
貯ルニ六月マテ保ツ味其美ニシテ  
他國ニ勝レリ



蜜柑



花首夏ヨリ咲香氣類ナシ實  
大ナル国地ノ九年母ニ勝リ味  
最其美ナリ



嶋方言カフツ橙タイノ  
家々ニ植テ實ヲ採絞リテ  
酢トナシ朝夕用ヲ弁ス青キ  
實ヲ絞リ煮返シ貯レリ久ク  
保ツ其實ニメ熟シ  
タル酢其  
国地ノ  
柑ノ香  
ハシ  
ナキカ  
如シ

枳子 カリシ

國地ノカウシニ不異是又蜜買ラ  
絞リテ酢ニ用ユ古キ皮ラ陳皮ニ  
剥衣シテ服シ誠ルニ其功能唐物  
ニモ不劣カトシホユ



嶋方言

ホウカウシ

八丈ノ人ハ大ト云を又ラホウト云  
ニヨリ大枳子ノ唱アリ稀ニハ

大木アリノ蜜買ハ

夜山枳ヨリ

大ニシテ

肌滑ニメ

味酢ク枳子

ニ等シシヤ

カタラ密

枳ノ類カ





フシユカン  
狗椽 一名香椽

此木ウレシ形花梨ホニ

似テ長シ

廻リ一尺

余長ク

六寸許味酢

其年ナリ



嶋方言キニカン

アミリ大木ナシ花蜜葉ホトモ棋子ニ等シ

味其酢香自氣ナシ國地ノ金棋トハ大ニ

邊タリ



嶋方言モ

此木民家ノ内ニ稀ニアリ

花蜜實ニ楫子ニ似テ蜜實大ニメ

肌ナメラカヤリ葉ハ平連リ

シゲリ附キ蜜實ノ味最酢シ



枹

花蜜實凡以風ニイタミ熟スル者少シ

形ハヤマト枹ノ小キモノナリ





梨

花ハ仲春ニ咲キ

最見右又ナリノ實ハ

沙風ニイタシ

熟スニ又カタシ

然ル味ヨカラス



嶋方言 イソクミ 胡頹子

木ニナラス又實ハ菜蔓ヨリ丸シ

葉厚ク沙風ニ不凋故ニイソクミト云カ

海岸田畠ノ圃ニ植テ風ヲ防ク

小兒此實ヲ採テ多喰ヘハ上氣

ニテ面赤シ



嶋方言言ナイシヤウグシ  
 前ニ記スイソクシニ等シ  
 二月ニ赤安貝熟ス木ハ  
 カツラノ如ニテ細シ安貝モ  
 細ナリ農夫此安貝ヲ熟ラ  
 見テ稲ヲサ時故園地  
 ニテ苗代クシト云ヘキヲ  
 嶋方言言ニテナイシヤウ  
 クシトニシロカ



嶋方言言スソクシ

三月淡紫糸細花開其赤安貝ヲ  
 結ヒ熟シテ後煤色トナル故ニ  
 此名ヲ呼カ余ノソクシヨリ  
 味ナホ酢シ唐朱黄  
 ナルハシ



楊梅

山中ニ多クシ稀ニ大木アリ  
皮ハサ薬品トナル又洗物トナル  
實ハ年ヲ隔テ熟ツス  
嶋人家毎ニ  
是ヲ採リ  
絞リテ此  
酢ヲ用又  
塩ニ漬ル又粉ヲ交テ  
根トス其量不少



安石榴 ガクロ

国地ノガ名ニ不異トモ  
實大ニメ味其美ナリ  
此木嶋ニ少ナシ



嶋方言

ソロ

木形梭

桐似テ

太ク葉ホモ

亦廣シ數百

年ヲ經テ圍三丈余

長三丈ニ及フ木子夏花咲キ

實ハ初冬ニ熟ス嶋人其用

不知實ヲクダキ試ニ麵粉アリ

若ク槌椰子ナルカ疑クハ槌椰子

木性カカ子ノ如シト本州ニ見ヘタリ

此木是ニサ五邊ヲ



梭櫚

国地ノ木不異年々モヲ取リテ

船綱ニ用ユ



椿

嶋々ニ多シ花單  
辨紅ニテ八月ヨリ  
咲四月ニテ不絶

島人此  
實ヲ油  
ヲトリ諸  
菜ヲ煮  
テ喰フ  
又園出  
ニテ穀ニ  
交易ス



嶋方言言ハイノキ

檜ハツノキ

又ハシノ木

山野及畠ニモ植テ島々ニ多シ仲春花咲初冬實ナル俗ニ是ヲ  
夜及附子ト云染草ニ用テ黒色ヲナス葉ヲ以テ牛ヲ飼フニ肌  
肥ヘカヲ増ニス又枝葉ヲ集メ田畑ニ入テ土ヲ沃シ元木ハ薪ニシ

民家ノ要木ナリ



嶋方言言 テウナノキ

深山ニ有テ大木トナル木ノ肌楠ニ似テ

梅ニ似ル所アリノ木目細ニメ

用木タルヘキモノナリ



無花菓 イチシク

国地ノイチシクニ同シテ

實大ナリ



嶋方言

サクラダラ

山中ニ有テ大木ト  
ナレ嶋人板ニ挽テ器  
ヲ造ル仲夏花咲キ  
秋ニ至リテ小蜜ヲ  
結フ萌芽ヲ取テ食フニ  
味美ナリ



嶋方言シトコ

仲春花咲キ子夏ニ蜜ナル木ハ細ク  
立延テ二丈余真ニ塔ニ心ノ如クニテ  
太キモノアリ用木ナラス



嶋方言 ヤニハイ  
 大木アリ花ハ夏開  
 實ハ秋ナル  
 島人此木  
 角ヲ不知  
 肌ハ靨如ク紋アリ  
 皮ヲ白ニテ搗キ  
 水ニサラセ粘  
 ノ如シ是ヲ油ヲ  
 女シ加テ紙燭トス  
 火光最ヨシ又皮ヲ絞リ其汁ヲ  
 前大シ結シハ漆ノ如クナリノ物ヲ塗ルニ  
 甚ツヤアリ



嶋方言 アカイノキ  
 山中所々ニアリ木性梧ニ似テ和カナリ  
 島人横筒ノ類ニ造ル





嶋方言言 イツチヤ

俗ニエゴト云木ナリ

實ヲ絞レハ油名

又此實ヲ以テ小鳥ヲ

飼事アリ



黄楊 ツケ

御藏出寫ニ多シ木性公モ

ヨシ依テ國地へ出ニ高

價ヲ得テ穀ト交易シ

島人ノ助ケトナル事少

ナカラスハ丈ニモ苗アリ故

養食事ヲ示ス



柞木 イヌツケ

葉長木色青黒アリ

木性ヲトリテ黄楊ニ

比スヘカラス

ミツクサ又ミツキ



八丈大木アリ初其葉白花咲  
株豆ノ如クノ実貝ヲ結フ  
島人ハ家財ニモ用ト諸國  
ニテ竹者ニケズリ竹者ノ上品  
トスル木ナリ

嶋方ミツクサ

標ナリ

山ニ多ク新ニ採ル而已



嶋方言

サエマノキ

蘇木ノ類カ

海岸山嶽石ナリ

間生シテ大木

石見季春

ヨリ花咲實

九月熟ス島

人採之煎喰

味甘麦ナリ又此

木ヲ煎シテ衣ヲ染ニ

赤色トナリ數度染テ

飛色トナル



南燭

大ナルハ一丈余

廻リ四五寸

實大粒ナリ



嶋方言言ニタキ

木性ツヨク島  
人斧鉋ノ柄ガ  
又枝ヲ削リテ  
牙杖トスレハ歯  
ノ痛ヲ止ム  
俵本草ニアリ  
此安負ヲ  
絞レハ蠟トナル  
信別越後ナトニタキ  
イボ夕蠟ト云此安負ナリ



嶋方言言 アカシノキ

山中ニタキ  
仲夏花  
アリ秋細  
安負ヲ  
結フ木ハ  
赤シ國  
地ニテ  
モツコク  
ト云  
庭ニモ  
植ル  
木ナリ



嶋方言ヨラヤフ

大木ヲ不見十一月細花ヲ  
開ク正月赤実ヲ結ブ  
島ノ人サ新ニ採ルノミ



嶋方言ヨサイノツノ

大藤葛ノ類實ハ  
双角ノ如シ故ニ此名  
アルカサ葉品ノ  
斑枝花ニ似テ  
別種ナリ



嶋方言 マタラハシ  
 冬ニ青ニ似テ此木ノ類ナリ  
 島人此木ヲ箸ニ削ルニ  
 班紋アラハス故ニ  
 マタラハシト云カ



嶋方言 カゴフチ  
 木性堅クシテヒテ  
 折傷セス島人箆竹筥ノ縁トスル故ニ  
 其名ニ唱ルカ八月花アリ  
 十一月黒豆ノ如ク  
 実ヲ結ブ



嶋方言 ソウタキ

花ハ此系陽花ニ似タシク

葉石子ク木モ堅シ

別種ナリ



嶋方言 カラスマハリ

又 穢クルト云

仲夏ニ実ヲ結ブ

木性葉及実ノ形

無花果ノ小キ

モノナリ



嶋方言ハヒラ

朽ヤスキ弱木ニテ  
薪ニモナラスト云



嶋方言 シロブチ

島人植テ圃垣トス數年經テ  
廻リニ又高サニ丈余木アリ  
俗ニツハキ又ニサキト云ヘ此類ナリ





嶋方言言サカキ

神ノ類ニテ別種ナリノ國ニヨリ

クサキト云ツサキハ

草神ノ略言カ

此木ノ

灰ニテ漆

物ノ色ヲ出ス

又山島人茶ノ

之キトキハ此若芽ヲ

採リ制長テ茶ノ代リニ用ユ

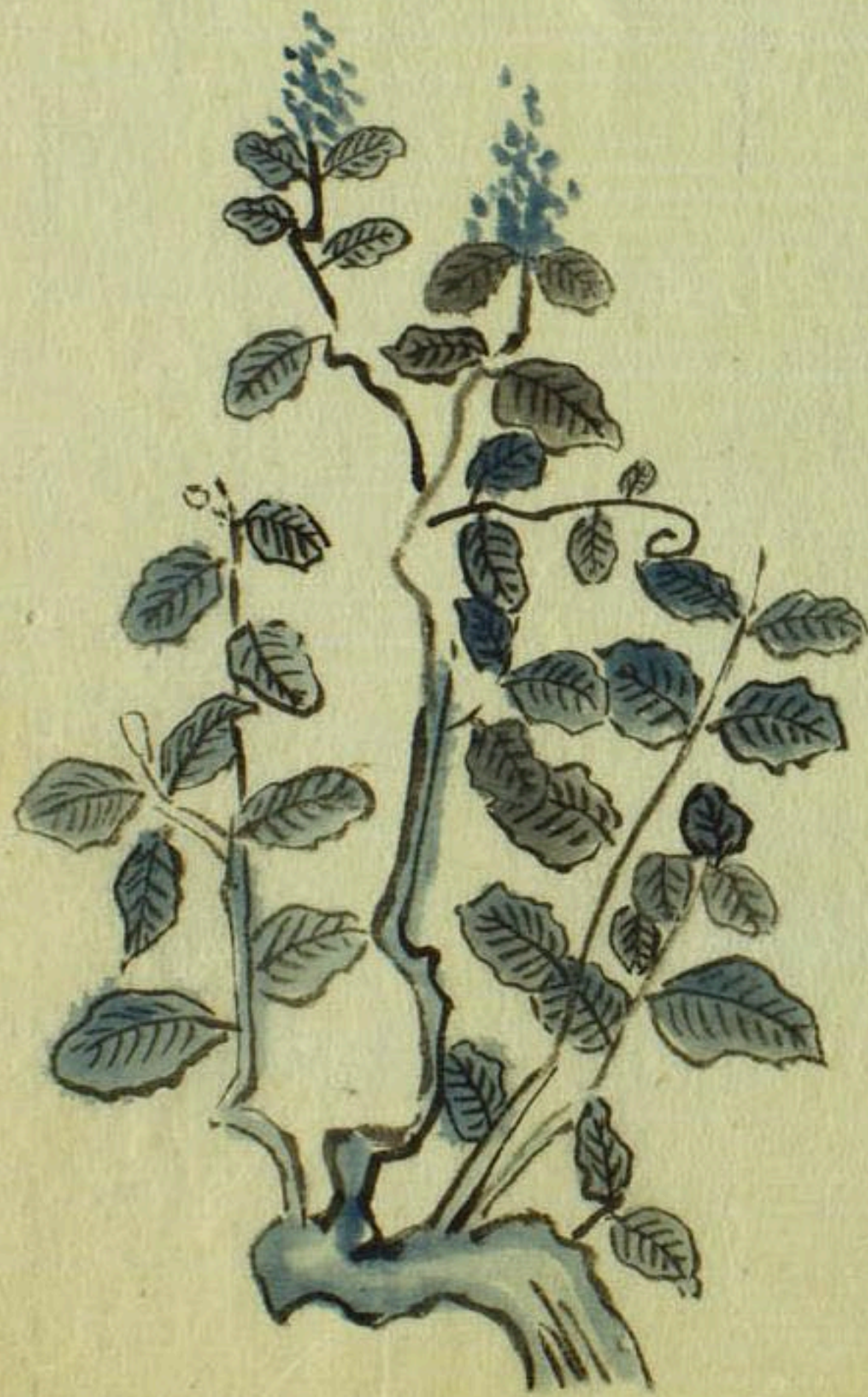


嶋方言言ハシキ

揚榼ノ類ナリ

嶋人箸ニ削リ用ル故ニ

此名アリ



嶋方言不詳

花葉赤色白アリ

島人疫邪ヲ除クトテ

靡ニカクル古キ書ニモ

是事アリ

トヘラト云木ナリ



嶋方言ハラノキ

丈高ク落刺尖トニシテ

物ニカハリテ離レス俗ニ

猿トリサト云



嶋方言言シラタケ

近年山中ヨリ

採テ里ニ植ユ

廻リ三寸許

年ヲ経テ色

白ク葉廣シ

シテ末ニ附ク

ナヨクテ

蒼黒竹ノ類カ



嶋方言言トウヨシ

海岸ニ流寄

タルヲ取植ユ

今テ民家ニ

多シ丈ケハ

一丈ニユエ

廻リ四五寸

葉太リ

唐段

ノ類カ



竹 七八寸廻リノ竹アリ花

筍ハ三月生ス

野竹 多シ筍ハ正月生ス

深山人喰味其美

篠山野ニ多シ

正月ニ生ス

ス、 深山ニ多シ

子ハ八月生ス

此四品國地ニ不異  
故圖ヲ略ス

茯苓



フツボト

山梔子



嶋方言 トウノキ  
常山



嶋方言 アケビ  
冬青



嶋方言曰シヤハトコメ  
接骨木



嶋方言曰ハシノキ  
此系荊



338  
41  
2

092  
2  
156

富士文庫  
登錄 14702 號  
登錄 0127 年 5 月 18 日

阿波國文庫



弘道塾藏

富士市立富士文庫



460078165